

～使ってベスト! しっかりガード!～

殺虫剤

ベストガード® 水溶剤

アブラムシ・コナジラミ・アザミウマ
などの難防除害虫に

ねぎ・いちごなどに
登録あります



アブラムシ類(ワタアブラムシ)



タバココナジラミ



ミナミキイロアザミウマ

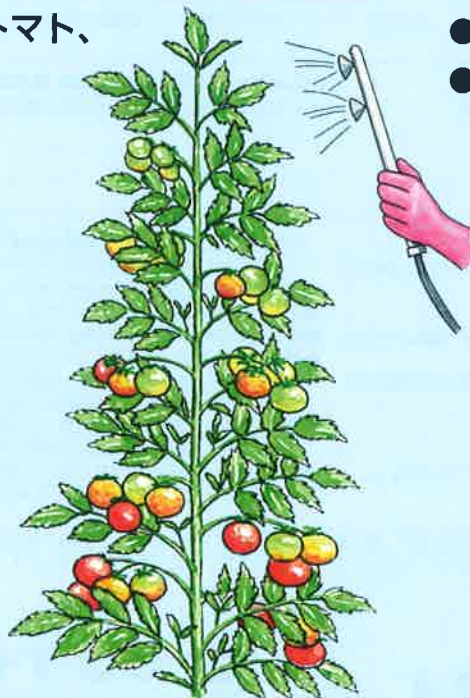


埼玉県農業技術研究センター 提供
ネギネクロバネキノコバエ

適用拡大 ●たばこ(タバコノミハムシ) 等

育苗期～生育期に! 〈散布〉

なす、トマト、ミニトマト、
きゅうり、いちご、
ピーマンなど



特長

- 葉裏などに隠れた害虫にも効く
- 水によく溶け、作物が汚れにくい
- 計量カップ付きで計りやすい



■適用と使用方法

2022年6月現在の登録内容(太字は2022年6月8日適用拡大)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10a当り 使用液量(ℓ)	使用時期	本剤の 使用回数	ニテンピラムを含む 農薬の総使用回数	使用方法	
ばれいしょ	アブラムシ類	1,000～2,000	100～300	収穫14日前まで	4回以内	※⑤	散布	
かんしょ	コナジラミ類	1,000		育苗期	3回以内	3回以内		
とうがらし類		1,000～2,000		収穫前日まで		※①		
きゅうり	クロバネキノコバエ類 コナジラミ類、アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ	1,000～2,000	100～300	収穫7日前まで	3回以内	※①		
メロン すいか	コナジラミ類、 アブラムシ類、 ミナミキイロアザミウマ			収穫前日まで		※①		
ピーマン								
なす	カメムシ類	1,000～2,000	100～300	収穫前日まで	3回以内	※①		
トマト ミニトマト	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類 クロバネキノコバエ類			収穫7日前まで				3回以内
だいこん	アブラムシ類							
いちご	アブラムシ類	2,000	収穫前日まで		※②			
レタス	チビクロバネキノコバエ、コナジラミ類 アブラムシ類		収穫3日前まで	※①				
モロヘイヤ アスパラガス	コナジラミ類		収穫7日前まで	3回以内				
カリフラワー ブロッコリー	アブラムシ類、アザミウマ類	1,000	100～300	収穫前日まで	3回以内	3回以内		
ねぎ	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ クロバネキノコバエ類	2,000				※③		
		1,000～2,000				※①		
たまねぎ	ネギアザミウマ	1,000	100～300	収穫前日まで	2回以内	2回以内		
もも りんご	アブラムシ類	1,000～2,000			収穫14日前まで	3回以内		3回以内
なし	カメムシ類、チュウゴクナシキジラミ、アザミウマ類 アザミウマ類、コナカイガラムシ類				収穫30日前まで			
ぶどう	フタテンヒメヨコバイ		1,000	収穫7日前まで				
かんきつ かき	アザミウマ類、アブラムシ類	1,000～2,000	200～700	収穫7日前まで	2回以内	2回以内		
マンゴー	チャノキイロアザミウマ	1,000			2回以内	2回以内		
食用べにばな(花) 茶	ナモグリバエ チャノキイロアザミウマ、チャノミドリヒメヨコバイ	2,000 1,000～2,000			100～300 200～400	収穫7日前まで 摘採7日前まで		2回以内
花き類・観葉植物 (ばら、きくを除く)	コナジラミ類	1,000	100～300	発生初期	4回以内	4回以内		
ポインセチア	アブラムシ類	1,000～2,000						
	コナジラミ類、チビクロバネキノコバエ	1,000						
きく	アブラムシ類 コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ	1,000～2,000 1,000	100～300	発生初期 収穫7日前まで	4回以内 2回以内	4回以内 ※④		
食用きく	アブラムシ類 コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ	1,000～2,000 1,000						
ばら	アブラムシ類	1,000～2,000						発生初期
たばこ	アブラムシ類、タバコミハムシ	2,000	100～180	収穫10日前まで	1回	1回		

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10a当り 使用液量(ℓ)	使用時期	本剤の 使用回数	ニテンピラムを含む 農薬の総使用回数	使用方法
せり	水田	アブラムシ類	2,000	100~300	収穫14日前まで	3回以内	3回以内	散布
せり (水耕栽培)	ガラス室 等の施設							

※①:4回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後は3回以内)

※②:4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、株元散布及び散布は合計3回以内)

※③:5回以内(育苗期は1回以内、定植時は1回以内、定植後は3回以内)

※④:4回以内(株元散布は2回以内、散布は2回以内)

※⑤:5回以内(植付時までの処理は1回以内、植付後は4回以内)

■使用上の注意事項

- ボルドー液などアルカリ性の強い薬剤との混用はさけてください。
- ぶどうに使用する場合、袋かけ直前の散布では果粉が溶脱するおそれがあるので、使用をさけてください。
- せりに使用する場合は、水田以外での使用はさけてください。
- せり(水耕栽培)に使用する場合は、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理してください。
- 蚕に対して影響があるので桑にかからないよう注意してください。かかった場合15日間は給桑しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。

- 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに影響があるので注意してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 散布の際は必ず農業用マスクなどを着用し、作業後はうがいをしてください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

2206SC/ZS10